国際大会におけるFIGコーチライセンス取得義務化ついて

FIGの規定変更に伴い、スズキワールドカップを含む国際大会に出場する選手の帯同コーチについてはFIGコーチライセンス（以下、ライセンス）の取得が義務付けらます。

ライセンスの取得には大きく以下３段階のステップが必要です。
1）パスポート・顔写真提出
2）ADEL修了証（但し、選手が取得するADEL修了証とは異なるコースを受講要）の提出
3）Safeguarding修了証　(FIG：国際体操連盟主催による指導者向けの競技倫理・モラル・多様性についてのe-Learning) の提出

3)についてはいずれも英語・スペイン語・フランス語のいずれかの言語でしか受講することはできません。
またそれぞれの修了証については最後にある確認テストで、2) については80%以上、3) については全問正解した場合に限り、修了証が付与されます。

すでに昨年より海外で開催される国際大会に出場する選手(シニア/ユースとも)の帯同コーチについては、当該ライセンスを持っていなければ派遣登録が出来ず、帯同不可となっております。
ただし、ライセンス取得のハードルが非常に高いことから、今年のスズキワールドカップ2024については”統括コーチ”にのみに取得を義務付けることとし、来年2025年大会以降は出場する すべてのシニア選手の帯同コーチに同ライセンスの取得を義務付け、当該ライセンスを取得していない/できない帯同コーチは帯同不可=選手の出場も不可とします ので予めご承知おきください。

FIGコーチライセンスに取得にあたり、選手強化委員会にて相談窓口を設置しています。
具体的な取得に関わる手続きや修了証ダウンロードの方法などきめ細やかに対応頂けますので、同委員会の杉浦綾乃事務局長もしくは、富澤由貴委員まで早めにご相談ください。

杉浦綾乃事務局長　sugiura1998hatt@yahoo.co.jp
富澤由貴委員　yuki0shinchan@yahoo.co.jp